

プリンセス・クルーズ 2020年インターナショナルクルーズのパンフレットを発表



プリンセス・クルーズは2020年インターナショナルクルーズのパンフレットを発表しました。

プリンセス・クルーズの2020年インターナショナルクルーズパンフレットは、旅行会社店頭にて配布しています。またプリンセス・クルーズ日本語ホームページ（下記URL）から、ダウンロード（PDF）やデジタルパンフレットを閲覧できます。同ホームページより、パンフレットの送付を依頼することも可能です。

デジタルパンフレット：<https://www.princesscruises.jp/brochure-request-pdf/>

A4版、全88頁、オールカラーのパンフレットには、2020年4月から2021年5月までのインターナショナルクルーズのうち、日本のお客様に人気のコースやお勧めのコースを掲載しています。あわせてプリンセス・クルーズが誇る船内施設やサービス、バラエティ豊かなダイニング、新たに導入されるサービスやエンターテインメントプログラムなど充実したクルーズライフを写真とともにご紹介しています。

パンフレットでは、アラスカを始め、地中海やエーゲ海、北欧、英国などヨーロッパの他、パナマ運河や南米、南太平洋・オセアニア、アジアなど世界380以上の寄港地をめぐる多彩なコースを掲載。日本語ホームページでは、パンフレット掲載コース以外にもプリンセス・クルーズが運航する全てのインターナショナルクルーズを検索することができます。

プリンセス・クルーズでは、日本のお客様に特に人気の高いコースに日本語スタッフが乗船。メイン・ダイニングでの日本語メニュー*のご用意や船内ウェブサービスの日本語対応など、充実の日本語サービスを提供しています。このプログラムは、[ルビー・プリンセス](#)、[エメラルド・プリンセス](#)、[ロイヤル・プリンセス](#)のアラスカクルーズ、[スカイ・プリンセス](#)のバルト海クルーズ、[エンチャンテッド・プリンセス](#)、[クラウン・プリンセス](#)の地中海クルーズ、[リーガル・プリンセス](#)の英国クルーズで導入される予定です。



*新メニューの切り替え時期には、一部ご用意がない場合がございます。

プリンセス・クルーズの詳細については、日本語ホームページ (<http://www.princesscruises.jp/>) をご覧ください。

2020年インターナショナルクルーズのハイライト

アラスカ

乗船客数No.1を誇るプリンセス・クルーズのアラスカクルーズは、より深くアラスカクルーズを楽しむ船上プログラム「ノース・トゥ・アラスカ！」にて、アラスカの大自然が作り出す絶景に触れながら、この地への造詣を深めることができます。

アラスカの味覚を味わう：

「アラスカシーフードマーケティング協会」と提携し、キングクラブやキングサーモンなどの新鮮なシーフードを使ったアラスカ料理をご提供。地元レストランとパートナーシップを組み、クラブケーキなどの地元の人気メニューも登場します。

アラスカを知る：

アラスカの暮らしと文化に触れる体験型のアクティビティです。スキヤグウェイ寄港日に、アラスカのストーリーテラー兼音楽家が、アラスカの物語を伝えるストーリーテリング・ショー「ノース・トゥ・アラスカ」を披露。また、アラスカ文化を支える犬ぞりの「そり犬」の子犬が船上に登場し、子犬たちと写真撮影ができる他、そり犬トレーナーとも会うことができます。犬ぞりレースで初の女性優勝者による講演も行われるなど、地元の人々からリアルなアラスカを学ぶことができます。

アラスカを体験する：

ゴールドラッシュの全盛期に思いを馳せ、当時の興奮を体験できるイベント。「クロンダイク・フェスティバル」では、ダンスパフォーマンスやハーモニカ講座、ナチュラルリストの講演などのイベントを実施する他、砂金探しをはじめ子供向けのアクティビティもご提供します。

[ルビー・プリンセス](#)、[エメラルド・プリンセス](#)のシアトル発着インサイド・パッセージ8日間、[ロイヤル・プリンセス](#)のグレーシャー・ハイライト8日間では、安心の日本語サービスをご提供します。

また、クルーズの前後に組み込むことができる、アラスカの魅力をより満喫いただくランドツアーもご用意しています。プリンセス・クルーズ専用のロッジに滞在し、展望列車やバスから眺める壮大な風景、デナリ国立公園の観光、外輪船クルーズなど、アラスカをたっぷりとお楽しみいただけます。

ヨーロッパ

・[スカイ・プリンセス](#)のスカンジナビアとロシア12日間を始め、[エンチャンテッド・プリンセス](#)、[クラウン・プリンセス](#)の地中海クルーズ、[リーガル・プリンセス](#)の英国クルーズでは、日本語スタッフが乗船。人気のバルト海クルーズ、バルセロナ、チビタベッキア（ローマ）を出発し、アドリア海やエーゲ



海の魅力的な寄港地を訪れる地中海クルーズ、英国クルーズを安心の日本語サービスでお楽しみいただけます。

・ロイヤル・クラス5隻目の客船[エンチャンテッド・プリンセス](#)は、2020年6月19日発 ヨーロッパ周遊10日間でデビューを迎えます。地中海周遊クルーズに就航後、バルセロナから大西洋を横断し、フォート・ローダーデールへと向かいます。

アジア・オセアニア

・シンガポール発着クルーズに就航する[グランド・プリンセス](#)は、12月からペナン島やプーケットを始め、東南アジアの人気寄港地を周遊します。

・メダリオン・クラスの客船[リーガル・プリンセス](#)が初就航するオセアニアクルーズでは、壮大な自然の魅力あふれるオーストラリアとニュージーランドを、[マジスティック・プリンセス](#)、[サファイア・プリンセス](#)、[サン・プリンセス](#)、[シー・プリンセス](#)の5隻が巡ります。

北米・南米/カリブ海

・大西洋と太平洋をつなぐ「水の階段」と言われるパナマ運河を通過するクルーズでは、ロック（閘門）通過時、水路すれすれに船が進んでいくシーンがハイライトの一つです。[クラウン・プリンセス](#)と[エメラルド・プリンセス](#)は、2016年6月に開通した新閘門、[ユーラル・プリンセス](#)と[アイランド・プリンセス](#)は旧閘門を通過するクルーズを運航します。

・[ユーラル・プリンセス](#)は、12月より南極クルーズに就航。ブエノスアイレス発、サンアントニオ（サンティアゴ）着17日間の日程で、手つかずの自然が広がる南極半島を4日間かけてクルージングする他、南米各地を巡ります。

・2018年からスタートした特別プログラム「リズム・オブ・ザ・カリビアン」では、カリブの音楽とカクテルが華やかなパーティー、名物料理の提供やピアッツァにオウムやインコが登場するなど、船上でも心躍るカリブ海の魅力をお楽しみいただけます。

新造船[スカイ・プリンセス](#)、[エンチャンテッド・プリンセス](#)、そして[カリビアン・プリンセス](#)、[クラウン・プリンセス](#)の4隻でカリブ海クルーズを運航します。

*クルーズの日程は、変更になる場合があります。

プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在 17 隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、施設の豊富な選択肢を、上質なカスタマーサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間200万人のゲストを世界の380以上の目的地に向けて、3泊から 111泊の日程でバラエティ豊かな170以上のクルーズを運航。

プリンセス・クルーズは、カーニバル・コーポレーション& plc (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国のトラベル関連のウェブサイト「USAトゥデイズ10ベスト.com」リーダーズ・チョイス・アワード2017において「ベスト・オーシャンクルーズライン部門」第3位、「ベスト・クルーズシップ ダイニング部門」にてロイヤル・プリンセスが第3位、「ベスト・クルーズシップ エンターテイメント」部門にてリーガル・プリンセスが第2位、「ベスト・クルーズシップファミリー向け客船部門」にてリーガル・プリンセスが第5位、ロイヤル・プリンセスが第6位を受賞
- 米国クルーズ誌大手「ポートフォール・クルーズ・マガジン」リーダーズ・チョイス・アワード2018にて、「ベスト・マルチ・ジェネレーション・クルーズライン」、「ベスト・オンボード・ショッピング」、「ベスト・シグネチャー・カクテル」、「ベスト・ナイトライフ」を受賞
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード2018」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」を5年連続で受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード2017」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を2017年12月に受賞。（11年連続の受賞）。マジェスティック・プリンセスが「ベスト・ニュー・クルーズシップ」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード2017」にて、「ラージシップ部門賞」、「ベストクルーズライン クルーズコース部門賞」を受賞
- 「2015トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーで「ベスト・クルーズ・ライン賞」を、2015年10月に受賞

【国内での受賞】

- 第9回「観光庁長官表彰」を2017年10月受賞
- 第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、海外領域ビジネス部門で部門賞を2017年9月受賞、また第1回同アワードにて、観光関連産業部門部門賞を2015年9月受賞
- 神戸市におけるクルーズ振興に貢献した功績が評価され、神戸市より「Cruise Line of Excellence」を2016年11月受賞
- 日本で歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において2014年度より4年連続で、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」、「総合部門第3位」を受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ2014」を2015年6月受賞
- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」にて、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが2014年12月に「グランプリ」受賞
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」にて、「運輸部門優秀賞」を2013年9月受賞